

福島市中央地区地区説明会

小学校3校の再編に関する基本方針について

(福島第一小学校・福島第四小学校・清明小学校)

- 1 なぜ中央地区の3つの小学校が再編の対象になったのか
- 2 福島市中央地区教育構想検討会とは何か
- 3 福島市中央地区小学校再編に向けた基本方針の内容について
- 4 今後の予定について

なぜ中央地区の3つの小学校が 再編の対象になったのか

本市学校の適正規模・規制配置の基本方針

第一次実施計画

- 1 集団規模に課題を抱える学校の教育環境の早急な改善を図る
- 2 教育活動の一層の充実を目指す新たな取組との連動により教育環境の改善を図る
- 3 公共施設マネジメントや安全・安心等の総合的な視点から教育環境の改善を図る

施設更新と併せた総合的な視点からの学校規模適正化の推進

施設の老朽化ならびに小規模化が進行する小・中学校の施設更新にあたっては、防災や安全、また公共施設マネジメントも含めた総合的な視点から近隣校との統廃合を推進し、よりよい教育環境を整備します。

＜対象校＞ 福島第一小学校 福島第四小学校 清明小学校 松陵中学校

「中央地区教育構想検討会」とは

- 目的 = 各組織の代表者による基本方針の策定
- 基本方針 = どのような学校がふさわしいか
- (参考) 上記の学校を「どこに」「どのように」創るか = “再編計画”

基本方針策定までの経緯

- 検討委員15名による計9回の検討会を開催
(保護者、校長会、児童福祉、社会教育、自治振興協議会、女性団体、商工会)
- 委員による3校への現地視察研究、先進校研究、グループ協議、全体協議

基本方針(立体目次)

福島市中央地区教育構想 基本方針(立体目次)

<中央地区の教育・文化のランドマークとなる先導的な学校>

※ ランドマーク…市民が真っ先に思い浮かべる存在、日本といえば富士山、東京といえば東京タワー、「中央地区といえばあの学校！」

4 中央地区にふさわしい未来の学校像

2 学校教育への期待

- ① 学びの変革、学習者主体の学びの実現
- ② 不登校問題の深刻化、多様な学びを支える教育環境の整備
- ③ 学校の機能拡充、社会教育との連携
- ④ 避難場所として安全な学校、防災機能の拡充
- ⑤ 教員を目指す人材の育成、教員のなり手不足の解消

<先導的な学び>を推進!

ワクワク!

<先導的な学び>とは…
本市に留まらず、県内、全国の小学校教育の先導的なモデルとなる学びを実現する学校、校訓

- ① 子どもが「主語」の授業を基盤にした、学習者主体の学校
- ② 中央地区全体を学びのフィールドとし、探究学習、協働学習を核としたカリキュラムを構成、実践する学校

<多様な学び>を実現!

自分らしく

<多様な学び>とは…
子ども個々の特性やペース、学びたいことに寄り添った支援、教育環境を整備した学校、校訓

- ③ 学びにくさを抱えている子どものニーズに寄り添い、その子らしい学びを尊重する学校
- ④ 一人一人の学びを支えるための柔軟で多様な教育課程による教育活動を実現する特例校

- ⑤ 子どもと地域住民との交流、ふれあいをとおして共に学ぶ学校
- ⑥ 地域住民が、参画・運営する新しい学校

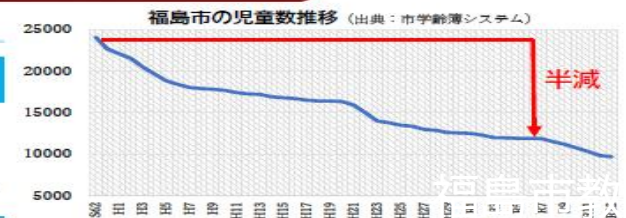
3 市民の意見

- ① 三校の特色や伝統の継承、そして質の高い教育のさらなる発展を
- ② 中央地区の強みを活かした魅力ある学校づくりを
- ③ 学校との関わりをもとに市民が交流、参画、運営できる学校を
- ④ 災害に備え、防災・減災の視点から安全な学校を、避難場所としての機能確保を

地域が学校を支え、学校が地域を活性化させるスクール・コミュニティ!

1 中央地区の実態(課題と強み)

- ① 急激な少子化・学級減による適正な学校規模の維持が課題 子育てと教育で選ばれるまちに
- ② 築年数60年を経過した校舎の老朽化 避難所としての安全性の確保 恵まれた周辺環境
- ③ 中心市街地の空洞化・分断化の懸念 期待される地域コミュニティの再建 交通の利便性が高い



中央地区3校区の実態(課題と強み)

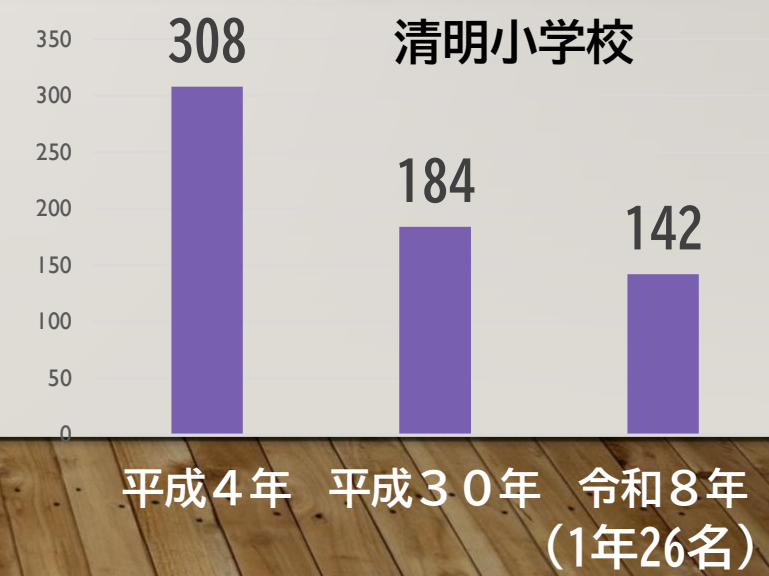
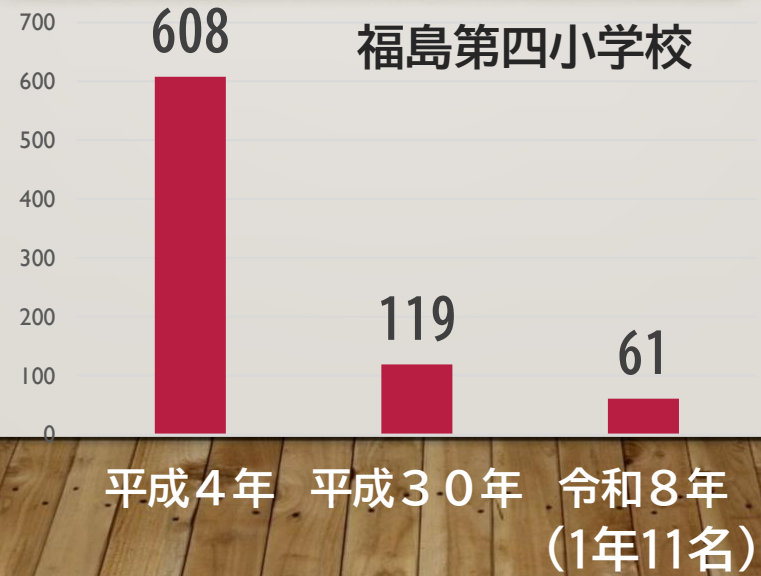
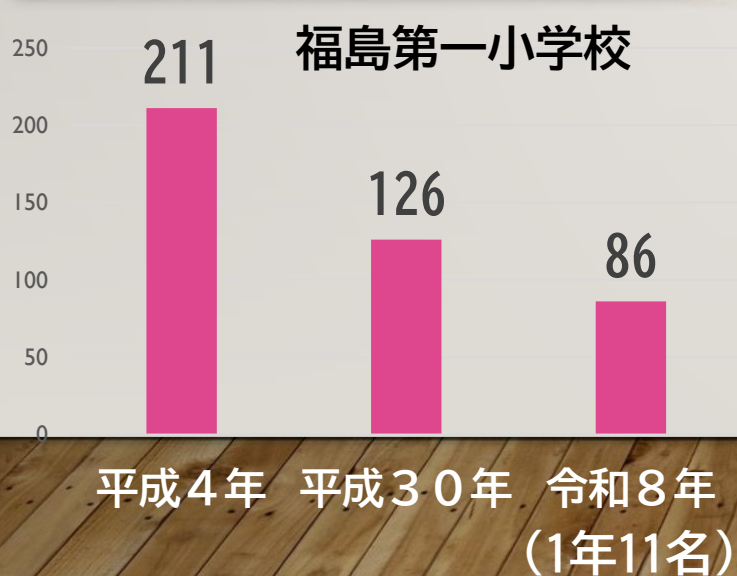


1 中央地区の実態(課題と強み)

- ① 急激な少子化・学級減による適正な学校規模の維持が課題 子育てと教育で選ばれるまちに
- ② 築年数60年を経過した校舎の老朽化 避難所としての安全性の確保 恵まれた周辺環境
- ③ 中心市街地の空洞化・分断化の懸念 期待される地域コミュニティの再建 交通の利便性が高い



中央地区3校区の実態(課題と強み)



中央地区3校区の実態(課題と強み)

少人数教育の強み = きめ細やかな指導

少人数教育の課題 = 教育活動の様々な制限

- 体育科の団体競技、音楽科の合唱や合奏ができない
- 人間関係の固定化
- 学校行事の小規模化

今、求められる学校教育への期待

2 学校教育への期待

- ① 学びの変革、学習者主体の学びの実現
- ② 不登校問題の深刻化、多様な学びを支える教育環境の整備
- ③ 学校の機能拡充、社会教育との連携
- ④ 避難場所として安全な学校、防災機能の拡充
- ⑤ 教員を目指す人材の育成、教員のなり手不足の解消



市民の意見

令和7年度
学校要覧

校訓「終始一誠意」について

明治9年、明治天皇の御成敗の御方、本校（前身「明治第一」）が、文部省、本館管内の米戸孝太郎が、本校のために開校されたことが「終始一誠意」であります。この言葉は、人に見てもうがまじい、それと関係なく、いつでも、どこでも、親睦のあつたこと、誠意を第一として生き抜くといふ意味です。このことを人知れず、守りつづけてまいりました。御成敗の御方です。本校では、この「終始一誠意」を教育理念として、子どもたちの全人的成長を願い、日々の教育活動に取り組んでいます。

学校番号 (1) 福島市立福島第一小学校
〒960-8065 福島市緑浜1番24号 電話 024-523-1366 FAX024-523-4195
Email: fukushima1-ed@fcs.ed.jp

令和7年度
学校要覧

みんなとともに 笑顔いっぱい

福島市立清明小学校

〒960-8062 福島県福島市新町番地31番 電話 024-232-2531 FAX 024-232-2514

令和7年度
学校要覧

やさしく かしこく たくましく

福島市立福島第四小学校

〒960-8001 福島県福島市11番31号 電話 024-924-0141 FAX 024-924-2094
Email: fukushima4-ed@fcs.ed.jp
HP: fcs4fukushima.ed.jp

3 市民の意見

- ① 三校の特色や伝統の継承、そして質の高い教育のさらなる発展を
- ② 中央地区の強みを活かした魅力ある学校づくりを
- ③ 学校との関わりをもとに市民が交流、参画、運営できる学校を
- ④ 災害に備え、防災・減災の視点から安全な学校を、避難場所としての機能確保を

中央地区にふさわしい未来の学校像

福島市中央地区教育構想 基本方針(立体目次)

<中央地区の教育・文化のランドマークとなる先導的な学校>

<先導的な学び>を推進!

ワクワク!

<先導的な学び>とは...
本市に留まらず、県内、全国の
小学校教育の先導的なモデルと
なる学びを実現する学校、校訓

- ① 子どもが「主語」の授業を基盤にした、学習者主体の学校
- ② 中央地区全体を学びのフィールドとし、探究学習、協働学習を核としたカリキュラムを構成、実践する学校

<多様な学び>を実現!

自分らしく

<多様な学び>とは...
子ども個々の特性やペース、学
びたいことに寄り添った支援、教
育環境を整備した学校、校訓

- ③ 学びにくさを抱えている子どものニーズに寄り添い、その子らしい学びを尊重する学校
- ④ 一人一人の学びを支えるための柔軟で多様な教育課程による教育活動を実現する特例校

- ⑤ 子どもと地域住民との交流、ふれあいをとおして共に学ぶ学校
- ⑥ 地域住民が、参画・運営する新しい学校

地域が学校を支え、学校が地域を活性化させるスクール・コミュニティ!

今後の予定

- 基本方針の地区説明会
- 再編計画の策定(どこに・どのよう)
- 施設整備に向けた検討会の開催
- 開校に向けた準備委員会の開催
- 開校までのロードマップ作成と公表